

第4回松本市平和三行詩コンクール 作品集

募集期間： 令和7年5月19日から6月6日まで

主 催： 松本市・松本市教育委員会

目次

1 全体講評

2 入賞作品

- (1) 小学生の部 4 ページ
- (2) 中学生の部 5 ページ
- (3) 一般の部 6 ページ
- (4) 松本ユース平和ネットワーク賞 7 ページ

3 応募作品

- (2) 小学生の部 8 ページ
- (3) 中学生の部 40 ページ
- (4) 一般の部 60 ページ

全体講評

世界では、今、この瞬間も紛争が起こり、戦争が続いています。報道される動画には、逃げ惑う方やケガをした方、泣き叫ぶ方など、現実世界とは思えない姿が映し出されています。80年前までは、日本も戦争当事者でした。自分たちにとっての正義を貫くために、武力で相手を打ち負かそうとし、多くの尊い命が犠牲となって、核爆弾の唯一の被爆国にもなりました。平和三行詩には、「もうそんな世界は創るまい」と誓う、力強い想いが溢れています。

たとえ小さな一歩でも、踏み出そう、踏み出すべきだという意思に基づく多くの作品の応募がありました。これからの世界が、自分の考えと異なる相手の考えを尊重し、互いが納得できる最適解を、武力ではなく対話によって導く社会となるよう、すべての作品を読みながら、私も深く願う気持ちになりました。

松本市教育委員会

教育長 曾根原 好彦